

# ともに前へ！

第1学年 学年だより

第 16 号

令和3年11月1日

(月)

発行者：1学年主任

学年目標：ともに学び、切磋琢磨できる学年 思いやりある行動ができる学年 心身ともに元気な学年

## 素晴らしい歌声でした！ ♪♪♪♪ ♪♪♪♪ ♪♪♪♪ ♪♪♪♪

10月27日に行われた校内合唱コンクールでは、10月19日に行われた学年発表会より、どのクラスも数段上手になり、1年生らしい元気なハーモニーを体育館に響かせることができました。これまで、実行委員やパトリージャー、指揮者や伴奏者を中心に試行錯誤しながら練習に取り組んできました。練習への取り掛かりが遅かったり、なかなか練習に本気になれなかったりと、意見のぶつかり合いなどもあったはずですが、合唱をとおして、一人ではできない、集団だからこそ味わう「一つのことを成し遂げる難しさ」や「出来た時の感動」を経験することが出来たのではないのでしょうか。また、結果発表を待つときのドキドキ感や聞いた時の喜びや悔しさは、一生懸命取り組んだ証なのです。審査員の先生からは、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。来週はダンス発表会もありますので、今度はダンスでクラスの一体感を表現できるよう期待したいと思います。

### ♪各クラスで書いた合唱コンクールを終えての振り返りの作文より一部を抜粋して紹介します♪

#### ♪1組

・今回の合唱コンクールをとおして、私は1組のみんなが大好きになりました。これまでの私だったら、ピアノが止まったら歌が止まってしまうから、絶対に間違わないようにしなければと思い、プレッシャーを感じていつもどおり弾くことができなかつたと思います。だけど、今回は、私が間違えてもみんなが歌い続けてくれるという信頼があったので、いつもどおりに弾くことができました。私は、1組の元気で優しいみんなが大好きになりました。

・また、クラスや学年で何かする時、みんなで力を合わせて、みんなの力で挑みたいと思いました。来年の合唱コンクールでも、もっと今よりも上手くなって頑張りたいです！

#### ♪2組

・昔から人前に出ること、大きな声を出すことが苦手なので、最初は自分が声をあまり出さなくても、他の人が出してくれると人任せにしようとしていたが、練習を重ねるごとに自分も大きな声で歌わないと合唱にならないと思い、自分のできる限り大きな声で歌いました。合唱コンクールをとおして学んだことは、人任せにしないで、自分の役割に自信を持って取り組むということを学びました。

・人生初めての合唱コンクール。結果は優秀賞。最優秀賞を取れなかったこのくやしき。何が足りなかつたか考えるが、でも一つ改めて気づいた。友達の大切さ。友達がいたから頑張れたと思うし、支えがあったから頑張れたと思った。みんなで頑張れたから、今のくやしきがあると思った。

#### ♪3組

・はじめはみんなバラバラで、指示を出す時も少しピリピリしたように言っていました。でも、練習するにつれて、だんだん全体がまとまって、私も練習を楽しみにできるようになりました。練習中にもぎやかにしてくれた人や真面目に全力で取り組んでくれたことに、本当に感謝しています。

・楽しんで歌うことができました。もちろん緊張もしましたが、楽しさ、その後の達成感の方が強かったです。最後の3年生の合唱はとてもすごかったです。とてもきれいに歌っていたので尊敬しました。僕らも2年後には2つの曲を歌います。今の3年生のような素晴らしい合唱ができるように、頑張ります。



### ◇令和4年度農業体験について◇

・10月6日の学年懇談会でもお知らせしましたが、10月26日に学年PTAの役員さんにお集まりいただき、校長、教頭、各学年主任同席のもと「令和4年度農業体験業者選定」を行いました。旅行業者4社からの行程や見積もりを参考に選定を行い以下のとおり決定いたしました。

以下に現段階での実施計画を掲載します。新型コロナウイルス感染症対策として昨年度また今年度の2学年同様、バス5台で実施する計画で進めさせていただきます。また、感染状況によっては、変更もありますのでその際は、随時お便り等で連絡させていただきます。

なお、集金については旅行業者への振込になりますので、支払い回数等を含め後日ご案内を配付する予定です。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 令和4年度 第2学年農業体験実施計画

### 1 目的

- (1) 農業体験をとおして、働くことの意義や健全な職業観を育成するとともに、人や自然への感謝の心を育てる。
- (2) 県外の文化施設や歴史に触れることで、見聞や視野を広める契機とする。
- (3) 集団行動をとおして、規律ある行動や自主性、協調性や寛容な心を育てる。

2 期日 令和4年5月24日（火）～25日（水） 1泊2日

3 研修場所 岩手県奥州市・平泉方面

4 参加生徒数 第2学年 107名

5 引率 団長、第2学年担当教諭

6 宿泊場所 巖美溪温泉 いつくし園 岩手県一関市巖美町字南滝之上15 電話：0191-29-2101

7 旅行取扱業者 株式会社近畿日本ツーリスト東北

### 8 日程

5/24 (火)	8:00 学校発	9:30 →	奥州市農業体験 (数人のグループに分かれ各農家で体験活動)		16:00 →	17:00 宿舎			
5/25 (水)	8:30 宿舎	9:30 →	えさし藤原の郷：陶芸体験	12:00 →	12:30 昼食（平泉レストハウス）	13:30 →	15:00 中尊寺	16:30 →	学校

9 経費 一人あたり 31,761円 ※コロナ対策のためバス5台で行く場合

交通費 10,387円（バス代9,008円、有料道路1,250円、駐車料金1,29円）

宿泊費 8,800円

農業体験代 6,000円（1日目昼食、おやつ代込）

入館料等 2,240円（えさし藤原の郷500円、陶芸体験1,500円、中尊寺240円）

食事代 1,430円（2日目昼食代）

諸経費① 889円（乗務員経費389円、添乗員費用500円）

諸経費② 895円（企画料金）

諸経費③ 500円（保険料）

諸経費④ 620円（農業体験巡回レンタカー3台分）

10 集金方法 旅行業者による振込用紙による支払い（コンビニ可）

（支払い回数は一括、分割で選択可。ただし、振込手数料は各家庭負担になります）

※後日ご案内を配付